

活動名称 (40字以内)	おじゃり申せ種子島！ 宇宙に最も近いディープな島まるごと体験プログラム(冬編)		
団体名等	種子島 西之表市 / 東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		20 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	下記いずれかの日程での参加となります。 希望期間①、②のいずれかを、申請書内の「プログラム名称」欄に記載してください(備考欄参照) ①2018/2/1(水)～2/10(金) 10日間 ②2018/2/13(月)～2/22(水) 10日間	主な活動場所	鹿児島県西之表市 (種子島)
目的	少子高齢化していく日本社会でどう未来を構築していくのか。離島というひとつの縮図的営みの中に身を置くことで、現実の厳しさ、又は豊かな自然と島人との交流で生まれる人間本来の生き方など、これから自分で歩いていく道の大切な通過点として、考える機会としてほしい。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>北日本に雪が舞始める12月以降、南の種子島では、サトウキビを積載したトラックが慌ただしく製糖工場と圃場を行き来し始める。また、昔ながらの黒糖づくりを行なう集落では、農業を営む住民が協力して、伝統的な味にこだわりながら作業を行なう光景も見られる。島ならではの冬の風物詩である。</p> <p>観光客も多く来島し賑やかな夏場に比べ、島の暮らしをゆっくりとじっくり味わえるのは、冬場の体験かもしれない。</p> <p>現在、種子島では、大学等と地域の連携のもと自然資本を活かし持続可能な社会モデル構築を目指す「スマートエコアイランド種子島」構想が進められているが、この構想の中心は、サトウキビなど島内の植物資源を活用し付加価値の高い製品を作るとともに、そこから生まれる燃料や電気・熱といったエネルギーを有効に利用し、地域に循環させるというものである。</p> <p>本体験プログラムでは、地域社会の体験に加え、最先端研究プロジェクトの実証現場の訪問などもあり、幅広い学びの場を提供する。</p> <p>(体験例)</p> <p>行政・・・市長の秘書随員として市政の現場をまわる。市役所内の各行政部署での職場体験 農業・・・農家でのサトウキビ収穫、黒糖づくり、スナッフエンドウ等収穫体験、和牛のせり見学、酪農体験 漁業・・・近海でとれた新鮮な魚介類のセリや水揚げを手伝う 林業・・・チップ工場での丸太の整理、森林現場体験 医療・福祉・・・離島特有の医療や高齢者福祉施設の現状を学ぶ 観光・・・島内観光地めぐり 集落・・・伝統行事や高齢者宅訪問、農作業体験、地域住民との交流体験 教育・・・小学校、中学校、高校を訪問し児童・生徒との交流 施設・・・九州沖縄農業研究センター 種子島試験地見学 新光糖業(株) 製糖工場(製糖工程、ゼロ・エミッション施設、循環型エネルギー) 種子島宇宙センター(日程次第で、実際の打上げを見学できる可能性あり) NPOこすもバイオディーゼルの製造実証施設(東北大学等との共同研究)</p>		
備考	<p>本プログラムは東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座との連携プログラムになります。</p> <p>参加申請書内の「プログラム名称」欄には、プログラム名称を記入した後、参加希望期間「①2018/2/1(水)～2/10(金)」、「②2018/2/13(月)～2/22(水)」のいずれかを明記してください。 また、「具体的な内容」欄を参考に、種子島でやってみたいことを明記してください。</p>		